

研究成果展開事業

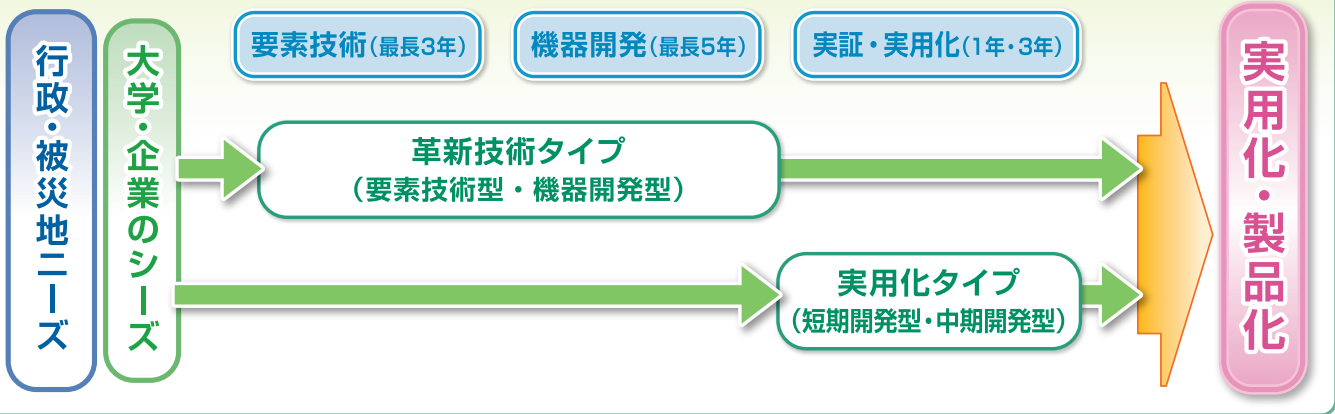
先端計測分析技術・機器開発プログラム

重点開発領域「放射線計測」(H24～)

東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質の影響から復興と再生を遂げるため放射線計測に関して、行政ニーズ、被災地ニーズ等の高い高度な技術・機器及びシステムの開発を行います。本領域全体を俯瞰する「領域総括」(プログラムオフィサー)の下、開発課題の選定、マネジメントを行い、開発成果の早期社会還元に向け、必要なサポート等を実施します。

開発タイプ

被災地ニーズ・行政ニーズ等に迅速に対応する「実用化タイプ」と放射線計測に関する革新的な技術・機器の開発を目指す「革新技術タイプ」



開発課題一覧

実用化タイプ(短期開発型)

開発課題名	チームリーダー
土壌放射能濃度の深さ分布モニタの実用化開発	石倉 剛(富士電機(株))
高速・高感度の食品放射能検査装置と大容量標準線源の実用化開発	井上 芳浩((株)島津製作所)
軽量・小型電子式個人線量計の大量校正システムの実用化開発	大口 裕之((株)千代田テクノ)
ハンディタイプ CsI スマートベクレルカウンターの実用化開発	大久保 茂夫(新日本電工(株))
シンチレーション光ファイバーを用いた2次元マッピングシステムの実用化開発	宮崎 信之(日本放射線エンジニアリング(株))
半導体検出器を用いた環境測定用ガンマカメラの実用化開発	茂呂 栄治(日立コンシューマエレクトロニクス(株))

実用化タイプ(中期開発型)

開発課題名	チームリーダー
無人ヘリ搭載用散乱エネルギー認識型高位置分解能ガンマカメラの実用化開発	薄 善行(古河機械金属(株))
高感度広視野ガンマ線画像分析装置の実用化開発	坂東 直人((株)堀場製作所)
高線量率環境に対応する線量測定方法の実用化開発	山本 幸佳((株)千代田テクノ)
食品放射能検査システムの実用化開発	山田 宏治(富士電機(株))
水中の低濃度放射性セシウムのモニタリング技術の実用化開発	伊藤 康博(日本パイレーン(株))
低価格・高速・高精度放射能測定装置の実用化開発	西沢 博志(三菱電機(株))
放射性核種自動分離測定装置の実用化開発	松江 登久((株)柴崎製作所)

革新技術タイプ(要素技術型)

開発課題名	チームリーダー
放射能環境標準物質の開発	薬袋 佳孝(武蔵大学)
放射性物質の高分解能3次元・直接イメージング技術の開発	坂本 哲夫(工学院大学)
耐放射線性を有するアクティブ駆動 HEED の開発	渡辺 温(バイオニア(株))
エネルギー弁別・位置検出型α線サーベータの要素技術開発	金子 純一(北海道大学)
集水域に着目した放射線の自然浄化モニタリングシステムの開発	兼松 泰男(大阪大学)
微量放射線の生物影響評価システム(装置)の開発	藤野 亮(日美商事(株))

革新技術タイプ(機器開発型)

開発課題名	チームリーダー
革新的超広角高感度ガンマ線可視化装置の開発	高橋 忠幸((独)宇宙航空研究開発機構)
高感度かつ携帯可能な革新的ガンマ線可視化装置の開発	大須賀 慎二(浜松ホトニクス(株))
生物学的線量計測用の分裂中期細胞自動検出装置の開発	古川 章((独)放射線医学総合研究所)
LANFOS: 食品の非破壊放射能検査を可能とする低コスト検出器の開発	マルコ カソリーノ((独)理化学研究所)

問い合わせ先

独立行政法人科学技術振興機構 産学基礎基盤推進部 先端計測室 〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's五番町

TEL ▶ 03-3512-3529

E-mail ▶ sentan@jst.go.jp

URL ▶ <http://www.jst.go.jp/sentan/>